学校番号	410

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書Ⅱ」　（光村図書）						
副教材等	ペン習字の基礎（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・一年生で学習したことを踏まえ、更に技術、表現の幅を広げ、身に付けます。
・漢字は様々な書体の古典臨書と創作、仮名では散らし書きでの創作に挑戦します。
・授業では、課題に対して自ら考え、どうすればその用筆、書風が表現できるのか工夫します。
・工芸的な作品も制作し、書の実用性についても学習します。

２　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。
表現と鑑賞の主体的な学習体験を重ねるなかで視野を広げ、試行錯誤を重ねて問題点を克服する力を形成する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への 関心・意欲・態度	b:書表現の 構想と工夫	c:創造的な書表現の 技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、生涯にわたり主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を高め、自らの意図に基づいて構想し、個性豊かな表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、用具・用材の特徴を理解し適切に扱うことにより、効果的な表現の技能を身に付け、表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解を深め、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	篆書	・篆書の歴史を学び、造形美について学ぶ。	○		○		a:漢字の誕生、篆書の書体の変遷に興味・関心を持っている。 b: 篆書の書体に即した用筆・運筆を理解し、表現を考え工夫している。 c: 篆書の特徴を理解し、感性を働かせて表現しようとしている。 d:古典の内容や時代背景などに関心を持ち、主体的に知ろうとしている。	観察 ワークシート ポートフォリオ 提出作品
	篆刻	・篆刻の歴史や意義を学び,印を制作する。		○	○		a:漢印の表現の特徴に関心を持ち、個性的に表現しようよしている。 b:印財の形状に応じて、文字の大きさや配置に工夫している。 c: 運刀法を工夫し、意欲的、主体的に表現に取り組むことができる。 d:古鉥や漢印、中国や日本の近現代の印人の印の美を把握しようとしている。	観察 ワークシート ポートフォリオ 提出作品
	隷書	・隷書の歴史を学び、隷書の基本運筆、用筆を学ぶ。 ・古典臨書「曹全碑」		○	○		a:隷書の書体の変遷について理解している b: 曹全碑の点画や線質の表し方、用筆・運筆の技法を理解し、表現を工夫している。 c:曹全碑の臨書を通して得た表現の技法を生かした個性的な表現の技能を身に付けている。 d:隷書の美の諸要素に関心を持ち、その表現効果を理解しようとしている。	観察 ワークシート ポートフォリオ 提出作品

	団扇製作	・隷書を使用し、夏らしい言葉を創作する。また、和紙染めも行う。			○	○	a:季節の風物詩としての団扇を個性豊かに創作しようと意欲的に取り組んでいる。 b:撰文、文字の大きさや配置など個性的に表現しようと工夫している。 c:隷書の特徴を意識しながら表現しようと工夫している。 d:他の生徒の作品を鑑賞しながら、自身の作品の向上を図っている。	観察 ポートフォリオ レポート 提出作品
2学期	草書	・草書の成立と変遷について学習する。 ・古典臨書　王義之「十七帖」		○	○		a:草書の多様性に関心を持ち、その用筆・運筆について意欲的に学ぼうとしている。 b:多様な草書の点画や線質の表し方を理解しようとしている。 c:十七帖の書風に即した用筆・運筆を身に付け、表現を工夫することができる。 d:十七帖伸びの要素に関心を持ち、草書の表現効果を感じ取ることができた。	観察 ポートフォリオ 提出作品
	漢字仮名交じりの書	・自分で選んだ漢字仮名交じり文を好きな書体を使用して清書し、版画で表現する		○		○	a: 自ら構想した作品を、用具・用材と表現の関係に関心を持ち、豊かな感性を働かせ、主体的に表現活動に取り組もうとしている。 b: 漢字仮名交じりの書での表現や、その表現技法の多様性を理解し、目的や用途の即した形式と表し方を判断し、主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を追求している。 c: 自ら考えた言葉を効果的の表現する文字群と背景の関係を理解し、全体構成を考え、創造的な表現の技法を身に付け表している。 d: 用具・用材の用い方や全体構成の工夫などにより、様々な表現が可能であることを理解している。	観察 レポート 提出作品

3学期	仮名臨書・創作	・仮名の散らし書きを臨書し、それを活かして創作をする。		○		○	a:散らし書きの書の美しさに関心を持ち、個性的な表現活動を行おうとしている。 b：伝統的な形式の持つ意味を考え、形式に応じた全体の構成を工夫している。 c:寸松庵色紙の臨書を通して得た表現技法を生かした表現を身に付け工夫できている。 d:寸松庵色紙の美の諸要素に関心を持ち、その表現効果を理解しようとしている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b：書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。